

【お洗濯の大切さ】

正しいメンテナンスで、新品のような撥水性がよみがえります。

洗濯編 (メリノウール、ダウン製品も専用洗剤を使用して同様の手順で)

①洗濯方法の確認 (注1)

ウェアに付いている洗濯ラベルを見て洗濯方法を確認します。ここでは、防水透湿素材を使用したウェアの洗濯機を使ったお手入れ方法をご紹介します。



④専用クリーナーを計る

専用クリーナーのボトルをよく振ってから、キャップに洗剤液を注ぎます。(計量:キャップ1杯/50ml)



②準備

洗濯中にファスナースライダータブや面ファスナーテープが絡まったりしないように、しっかり閉めておきます。



⑤専用クリーナーを入れる

他の洗剤と混ざらないよう、洗濯機の洗剤入れがきれいか確認してから、洗濯槽に専用クリーナーを直接注ぎ入れます。(水量は25~35ℓを目安)



③洗濯機に入れる

ウェアを洗濯機に入れます。洗濯表示にネット使用と記載されている場合は、洗濯ネットを使いましょう。



⑥洗濯スタート

洗濯の標準コースで、すすぎ2回、脱水は無しにセットしてスタートさせます。

Point 1 防水透湿素材の場合、脱水はしない!

そのまま脱水すると、部分的に溜まった水が抜けずにウェアを傷めたり、洗濯槽が破損する恐れがあります。(遠心力の負荷が強くなります。)

撥水編

《洗濯機投入タイプ「クロージングリベル」を使う場合》(注1)

⑦撥水剤を入れる

クリーナーによる洗濯方法と同じ流れで、洗濯槽に直接クロージングリベル撥水剤をよく振ってから投入します。(1着に対してキャップ2杯/100ml)



⑧押し絞りをする

脱水はせずウェアを取り出し、余分な水分を押し絞りながらシワにならないよう広げます。

《吹き付けタイプ「パフォーマンスリベル」を使う場合》(注1)

⑦押し絞りをする

脱水はせずウェアを取り出し、余分な水分を押し絞りながらシワにならないよう広げます。

⑧ウェア撥水剤を吹き付ける
ウェアから水が滴らないことを確認してから屋外へ持ち出し、表地全体にまんべんなく吹き付けてから陰干しします。

Point 2 濡れたままの状態での吹き付け!

乾いてから吹き付けるとムラになりやすいので、まだ濡れているうちに行ってください。撥水剤をなじませるため数分待ってから、過度に乳白色が残っている部分については、きれいな布等で軽く拭き取ってから乾かしてください。



「2イン1 ウォッシュ&リベル」を使った場合

「クロージングリベル」を使った場合

⑨乾燥機またはアイロンをかける

洗浄成分を蒸発させるため、最後に衣類乾燥機に掛けるか当て布をしてアイロンを掛けます。



⑨陰干しする

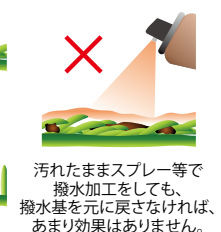
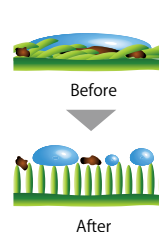
直射日光を避け、風通しの良いところで完全に乾かします。水分が残っていると生地への劣化につながります。



撥水性能が復活するメカニズム

倒れた撥水基を元に戻すことが重要

撥水の要は、生地表面にある撥水基という細かい突起。汚れなどによって倒れた撥水基は、洗濯して汚れを落せば元どおりになります。さらに撥水加工を施すことで、撥水性能を復活させることができます。



濡れたままスプレー等で撥水加工をしても、撥水基を元に戻さなければ、あまり効果はありません。

*防水透湿素材生地や撥水生地の場合

【グランジャーズの特長】

- 洗濯機投入タイプのクリーナーは硬水や軟水といった水質を問わずに使用可能です。また、防臭成分を配合しています。すので、ウェアをフレッシュに保ちます。
- 「クロージングリベル」「パフォーマンスリベル」「2イン1 ウォッシュ&リベル」は撥水剤成分として環境に優しいアクリルポリマーを採用。アクリルポリマーは、撥水性を失ったDWR(耐久撥水)加工表地に撥水加工を施すとともに、高い透湿性を保つことができます。また、生物分解性があり、環境への負荷を最小限に抑えます。
- ISO14001(環境マネジメントシステム)を取得するとともに、すべての商品においてブルーサイン®認証を取得し、環境や人体に対する高い安全性を約束します。

【ブルーサイン® スタンダード】

ブルーサイン®とは、独立した第三者機関が製品の製造過程における環境に対する安全性を証明する、現在では最も信頼性のあるグローバル基準として広く認められているマークです。生産された製品の安全性はもちろんのこと、原材料や製造中に使用される化合物など製造に関わるすべてが分析されます。



(注1) ご使用の頻度にもよりますが、製造・販売からおおよそ5年を経過したウェア商品の場合は、防水素材の経年劣化により防水皮膜が剥離することがありますのでご注意ください。